

Hello! FUJISEI

No.69

ふだん意識することはないでしょうが、仕事をしている間や自宅でくつろいでいる間にも、どこかで新たな命が誕生し、幸せなカップルが結婚し、そして、亡くなる人がいます。

この世に生を受けて、幸いにして愛する人たちに見守られながら一生を終えるまで穏やかな人生を過ごす方もいれば、波乱万丈の人生を送る方もいます。

人生80年時代と言われて久しいですが、残念ながら、だれもがその期間をまっとうできるわけではありません。

厚生労働省の「平成22年簡易生命表」によると、40歳まで生存する割合は男性が97.9%、女性が98.8%ですが、65歳となると、

平成22年中の人口動態、交通事故、火災の状況

出生	1,071,304人	交通事故	724,811件
	29秒に1人		43秒に1件
死亡	1,197,012人	交通事故死者数	4,863人
	26秒に1人		1時間48分に1人
婚姻	700,214組	交通事故負傷者数	894,281人
	45秒に1組		35秒に1人
離婚	251,378組	火災発生件数	46,620件
	2分5秒に1組		11分27秒に1件

人口動態は厚生労働省「平成22年 人口動態統計(確定数)」、交通事故は警察庁「平成22年中の交通事故死者数について」、火災は消防庁「平成22年における火災の状況(確定値)」より

人生は小説よりも奇なり！

自分だけは大丈夫って 思っていないですか？

男性86.9%、女性93.6%と少なくなります。そして、90歳まで生存する割合はというと、男性はなんと22%と4分の1になってしまいます。女性の方も46.1%と半分になります。

新聞やテレビは、毎日、痛ましい事故や災害の様子を伝えています。それを見ているときには、まさか自分にその災難が降りかかってくるとは思っていません。でも、いつ何時、思いもかけぬ事故や病気に遭い、尊い命を失うかもしれないのです。

「人生はシナリオのないドラマ」と言われますが、「人生は小説よりも奇なり」という言い方がぴったりかもしれません。長い人生のなかで、何が起っても不思議はないのです。

特定年齢まで生存する者の割合

	男性	女性
40歳	97.9%	98.8%
65歳	86.9%	93.6%
90歳	22.0%	46.1%

厚生労働省「平成22年簡易生命表」

平成22年中の人口動態等をみると、29秒に1人が生まれているなかで、26秒に1人の人が亡くなっています。また、交通事故は減少傾向にあります。飲酒運転の罰則強化など道路交通法の改正による効果もあり、近年、交通事故による死者数は減少しつつあるとはいえ、いつ自分がその当事者となり、大きなケガを負い、長期入院しなければならなくなるかもしれません。

もちろん、事故だけではありません。病気にかかることも考えられます。

何の根拠もなく、「自分だけは大丈夫！」と思っている人は多いのですが、何かあってからでは遅いのです。やはり、自分自身のためにも家族のためにも、万一のときの備えは早めにしておきたいものです。